

第151回:破れふんどしの反撃

いつのまにか師走の季節となった。世界の主要国で選挙が重なり、大きな政治変動が予想された激動の2012年も、日韓両国の選挙を待つのみとなった。馬英九再選、プーチン復活、サルコジ敗退、オバマ辛勝、習近平楽勝と、ほぼ想定範囲内で各国の新政権が発足したことになり、残る韓国は保革の接戦が続いており、日本は第三極の離合集散が自民勝利、民主敗退にどれだけのバイアスを掛けるかが焦点であろう。世界各国の選挙のなかで、大本命が楽々と当選を果たしたのは、ロシアのプーチンと中国の習近平だけであった。中国の新しい首相や、国家主席、委員長等は来年3月に開かれる全国人民代表大会を待つ必要があるが、中国共産党トップの政治局常務委員(7名)が決まり、これで大勢は決した。

むかし日露戦争を指導した桂内閣で、桂太郎(首相)、山本権兵衛(海相)、小村寿太郎(外相)の三名がインナーキャビネットを構成したように、中国7名の集団指導体制のなかで中核の核は習近平(党総書記)、李克強(首相)、王岐山(党中央規律検査委員会主任)のトリオだろう。彼らの職務は江戸幕府の将軍、大老、大目付と云えようか。中国で過去常務委員が一貫して勤めてきたポストは総書記、首相、規検委主任のみであり、党内序列はともかく、これが党内御三家なのである。その一角を占める李克強は来年3月の全人代で首相に就任の予定で、いまのところ筆頭副首相として静かに構えているが、将軍と大目付は就任早々臍を吊り上げて不正汚職の摘発に全力を挙げており、そのがむしゃらぶりが世界の注目を集めている。

国営通信の新華社は、本年10月に規律検査委員会が北京の汚職対策会議で「2007年11月から本年6月までに、党規違反などで66万人以上の党員を処分した」と発表したことを報道した。このうち2.4万人以上が刑事処分のため司法機関に送致されたという。中国の総人口の多さを考慮に入れても、桁違いに多い腐敗官吏である。更に恐ろしいのは、検挙されたのは氷山の一角に過ぎないらしいのである。

本年12月、ベルリンに本部を置く非政府組織(NGO)のトランスペアレンシー・インターナショナルが12年の世界各国の汚職指数ランキングを発表した。中国の「清潔度」は昨年の75位から更に下がって80位となり、状況がこの1年で悪化したことが明らかになった。因みに上位国(=清潔な国)は北欧、シンガポール、オセアニアの各国で、日本と英国は同率の17位、続く19位が米国。ランキング対象国は176カ国もあるが、先進国や新興大国のなかで中国より腐敗度が高い国はインド(94位)、ロシア(133位)くらい。ブラジルも中国よりはましたが69位、BRICs 各国は押し並べて腐敗度が高い。腐敗と格差がリンクし、貧富の格差が高度成長のエネルギーを生み出す経済原理は理解できるが、格差を放置すると社会の安定が損なわれ、政治の舵取りが非常に難しくなる懸念がある。

中国において100人以上を超える規模の暴動は年間で約20万件といわれているが、騒動のきっかけの大半が党政府関係者の腐敗にあり、社会安定を切に願う習近平は汚職摘発に全力を注ぐ考えのようである。習近平が総書記就任の挨拶で、汚職・腐敗、大衆からの乖離、官僚主義など「党は多くの厳しい挑戦に直面し、党内には早急に解決すべき問題がある」と指摘、社会保障、医療、環境など国民の期待に応えることが目標だと述べ「中華民族の偉大な復興のため奮闘するのがわれわれの責任だ」と訴えた所以である。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

習近平の下で腐敗摘発の責任者を勤めるのが同じ太子党の王岐山。彼は政治局委員に就任してからの5年間、只管謙虚で控えめな態度で職務に専念してきた。かつての陽気で豪快な性格を知る関係者は驚くが、毛沢東のサル真似をした重慶のチンドン屋の薄熙来が墓穴を掘り、控えめに徹した王岐山や張高麗が最高指導部入りした結果を見ると、中国で出る杭は必ず打たれることがよく分かる。

閑話休題、そんなわけで王岐山も腹を括り、持ち前の剛腕ぶりを発揮し始めたようだ。新政権が誕生してまだ1カ月も経たないのに、当局は少なくとも14名以上の局長級以上の高官の事情聴取を開始した。新華社は12月7日、四川省副書記や、深圳市副市長等8名の事案を報道した、しかも容疑者たちに気の毒だが、写真付きの一覧表にして。嫌疑も規律違反、汚職だけでなく、愛人との濡れ場シーンが盗撮されてネット上に掲載されたことから検挙された重慶市高官の醜聞まで、容疑は多種多様、ネット時代の犯罪模様である。

腐敗官吏を検挙するのは大いに結構だが、やるからには摘発は公平に行う必要がある。窮鼠猫を噛むというおり、破れかぶれになった悪人ほど怖いものはない。むかし江戸は天明期の文化人に、あつけらかんをもじり、朱楽菅江と号した歌人がいた。本名は山崎景貫、職業は江戸の治安を守る先手組与力であったというが、その彼が師走の資金繰りに東奔西走した挙句、やけのやんぱち日焼けのなすび状態となった庶民の怨嗟をこう詠んだ。

借金も今はつつむにつつまれず やぶれかぶれのふんどの暮れ。破れてぼろぼろになったふんどしでは男の大切なモノを覆い隠せないように、我が借金だらけの生活も周囲に知れ渡り、最早包み隠せなくなってしまう、破れかぶれの年の暮れになった。「ふんどの暮れ」に「年の暮れ」を、「借金の金」に「別のキン」を懸け合わせ、いささか猥雑ではあるが、巧妙な掛詞と縁語仕立てが見事な狂歌の傑作である。

自暴自棄になった人間が怖いのは失うものがないからである。薄熙来事件に連座して逮捕された王立軍（重慶市公安局長）の事案が示すように、公安畑の汚職官吏を摘発すると、彼らがある意図をもって密かに収集してきた政府高官絡みの腐敗の動かぬ証拠をやけくそになって一気にばらまく可能性がある。なかには最高権力者の親族絡みの不正も見つかるだろう。そのような醜聞を政治的配慮によって揉み消そうとすれば、不正摘発という正義の手段が、権力闘争の走狗に成り下がってしまう恐れがあり、ここが勝負どころ、政治改革の正念場なのである。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年12月11日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。